

大学番号 045

注3

**意見伺い (JD)**

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

名古屋大学大学院 生命農学研究科 名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻

注2

## 【意見伺い (JD)】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 東海国立大学機構  
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 管理部企画課

職名・氏名 課長・高久 奈津子

電話番号 052-789-5698

(夜間) 同上

e-mail sougoukikakusitu1@adm.nagoya-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科 (平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻 (修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

大学院生命農学研究科

＜名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	.....	1
2. 授業科目の概要	.....	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	.....	11
4. 既設大学等の状況	.....	13
5. 教員組織の状況	.....	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	.....	57
7. その他全般的事項	.....	59

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人東海国立大学機構

【連携外国大学の設置者】タイ王国

## (2) 大学名

名古屋大学大学院

【連携外国大学の名称】

Kasetsart University (มหาวิทยาลัยเกษตรศาสตร์)

## (3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町1

【連携外国大学の本部の位置】

50 Ngam Wong Wan Rd, Ladyaow Chatuchak Bangkok 10900, Thailand

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
研究科長	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成27年4月)	(ツチカワ サトル) 土川 覚 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
副研究科長	(ツチカワ サトル) 土川 覚 (平成28年4月)	(オジカ マコト) 小鹿 一 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
副研究科長	(シモムラ ヨシハル) 下村吉治 (平成27年4月)	(タニグチ ミツタカ) 谷口光隆 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
副研究科長		(フクシマ カズヒコ) <del>(ヤマウチ アキラ)</del> 福島和彦 山内章 (令和3年4月) <del>(平成31年4月)</del>	変更理由：任期満了のため 変更年月日：令和3年4月1日(3) 変更理由：新規就任のため 変更年月日： <del>平成31年4月1日(元)</del>

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。  
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和3年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生命農学研究科 名古屋大学・カセサート大学 国際連携生命農学専攻 (博士後期課程) 博士(農学)	農学関係	3年	1人 <42>	年次 - 人	3人 <126>	新規入学者を募集中	基礎となる学部等 農学関係 連携外国大学との 合計入学定員 2人 合計収容定員 6名

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ < >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学					
A 入学定員	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0.75倍	一倍	※以下、カセサート大学を主たる大学とする学生の状況  平成30年8月 学生1名が本専攻へ転専攻(元) 令和元年7月 学生2名が本専攻へ入学(元)
志願者数	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]			
受験者数	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]			
合格者数	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]			
B 入学者数	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.00		0.00						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。  
 (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	
1年次	1 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	1 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	1 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )				※以下、カセサート大学を主たる大学とする学生の状況  平成30年8月 学生1名が本専攻へ転専攻(元) 令和元年7月 学生2名が本専攻へ入学(元)
2年次	/		1 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	1 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	1 [ - ] ( - )				
3年次	/		/		1 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	1 [ - ] ( - )				
4年次	/		/		/		/				
計	1 [ - ] ( - )		2 [ - ] ( - )		3 [ - ] ( - )		2 [ - ] ( - )				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。  
(例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	1人	0人	平成29年度	1人	1人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	2人	0人	平成29年度	1人	1人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	3人	0人	平成29年度	1人	1人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	2人	0人	平成29年度	1人	1人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
合計		0人				

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<生命農学研究科 名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	博士論文研究ⅠA		1前	名古屋大学	4			48	44	14	26		
	博士論文研究ⅡA		1後	名古屋大学	10			48	44	14	26		
	博士論文研究ⅢA		2前	名古屋大学	10			48	44	14	26		
	博士論文研究ⅣA		2後	名古屋大学	10			48	44	14	26		
	博士論文研究ⅤA		3前	名古屋大学	10			48	44	14	26		
	博士論文研究ⅥA		3後	名古屋大学	4			48	44	14	26		
	小計(6科目)		-			48	0	0	48	44	14	26	0
	博士論文研究ⅠB		1前	カセサート大学	4			1	24	4	0		
	博士論文研究ⅡB		1後	カセサート大学	10			1	24	4	0		
	博士論文研究ⅢB		2前	カセサート大学	10			1	24	4	0		
	博士論文研究ⅣB		2後	カセサート大学	10			1	24	4	0		
	博士論文研究ⅤB		3前	カセサート大学	10			1	24	4	0		
博士論文研究ⅥB		3後	カセサート大学	4			1	24	4	0			
小計(6科目)		-			48	0	0	1	24	4	0	0	
(研究指導)		1-3通		名古屋大学・カセサート大学				49	68	18	26		
合計(12科目)		-			48	0	0	49	68	18	26		
卒業要件及び履修方法													
原則として3年以上在籍し、主大学開講科目から28単位、副大学開講科目から20単位、合計48単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。なお、博士論文は査読制度のある国際学術誌に投稿し、受理された後、原則として印刷公表されたものでなければならない。													

#### 【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目	博士論文研究ⅠA		1前	名古屋大学	4			42	45	14	24		
	博士論文研究ⅡA		1後	名古屋大学	10			42	45	14	24		
	博士論文研究ⅢA		2前	名古屋大学	10			42	45	14	24		
	博士論文研究ⅣA		2後	名古屋大学	10			42	45	14	24		
	博士論文研究ⅤA (未開講)		3前	名古屋大学	10			42	45	14	24		
	博士論文研究ⅥA (未開講)		3後	名古屋大学	4			42	45	14	24		
	小計(6科目)		-			48	0	0	42	45	14	24	
	博士論文研究ⅠB (未開講)		1前	カセサート大学	4			3	32	1	18		
	博士論文研究ⅡB (未開講)		1後	カセサート大学	10			3	32	1	18		
	博士論文研究ⅢB		2前	カセサート大学	10			3	32	1	18		
	博士論文研究ⅣB		2後	カセサート大学	10			3	32	1	18		
	博士論文研究ⅤB		3前	カセサート大学	10			3	32	1	18		
博士論文研究ⅥB		3後	カセサート大学	4			3	32	1	18			
小計(6科目)		-			48	0	0	3	32	1	18		
(研究指導)		1-3通		名古屋大学・カセサート大学				45	77	15	42		
合計(12科目)		-			48	0	0	45	77	15	42		
卒業要件及び履修方法													
原則として3年以上在籍し、主大学開講科目から28単位、副大学開講科目から20単位、合計48単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。なお、博士論文は査読制度のある国際学術誌に投稿し、受理された後、原則として印刷公表されたものでなければならない。													



【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門科目	博士論文研究ⅠA		1前	名古屋大学	4			48	46	17	23	
	博士論文研究ⅡA		1後	名古屋大学	10			48	46	17	23	
	博士論文研究ⅢA (未開講)		2前	名古屋大学	10			48	46	17	23	
	博士論文研究ⅣA (未開講)		2後	名古屋大学	10			48	46	17	23	
	博士論文研究ⅤA (未開講)		3前	名古屋大学	10			48	46	17	23	
	博士論文研究ⅥA (未開講)		3後	名古屋大学	4			48	46	17	23	
	小計(6科目)		-		48	0	0	48	46	17	23	0
	博士論文研究ⅠB		1前	カセサート大学	4			1	24	4	0	
	博士論文研究ⅡB		1後	カセサート大学	10			1	24	4	0	
	博士論文研究ⅢB (未開講)		2前	カセサート大学	10			1	24	4	0	
	博士論文研究ⅣB (未開講)		2後	カセサート大学	10			1	24	4	0	
	博士論文研究ⅤB (未開講)		3前	カセサート大学	10			1	24	4	0	
博士論文研究ⅥB (未開講)		3後	カセサート大学	4			1	24	4	0		
小計(6科目)		-		48	0	0	1	24	4	0		
(研究指導)			1-3通	名古屋大学・カセサート大学				49	70	21	23	
合計(12科目)		-			48	0	0	49	70	21	23	
卒業要件及び履修方法												
原則として3年以上在籍し、主大学開講科目から28単位、副大学開講科目から20単位、合計48単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。なお、博士論文は査読制度のある国際学術誌に投稿し、受理された後、原則として印刷公表されたものでなければならない。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門科目	博士論文研究ⅠA (未開講)		1前	名古屋大学	4			44	44	17	24	
	博士論文研究ⅡA (未開講)		1後	名古屋大学	10			44	44	17	24	
	博士論文研究ⅢA		2前	名古屋大学	10			44	44	17	24	
	博士論文研究ⅣA		2後	名古屋大学	10			44	44	17	24	
	博士論文研究ⅤA (未開講)		3前	名古屋大学	10			44	44	17	24	
	博士論文研究ⅥA (未開講)		3後	名古屋大学	4			44	44	17	24	
	小計(6科目)		-		48	0	0	44	44	17	24	0
	博士論文研究ⅠB		1前	カセサート大学	4			1	30	3	21	
	博士論文研究ⅡB		1後	カセサート大学	10			1	30	3	21	
	博士論文研究ⅢB		2前	カセサート大学	10			1	30	3	21	
	博士論文研究ⅣB		2後	カセサート大学	10			1	30	3	21	
	博士論文研究ⅤB (未開講)		3前	カセサート大学	10			1	30	3	21	
博士論文研究ⅥB (未開講)		3後	カセサート大学	4			1	30	3	21		
小計(6科目)		-		48	0	0	1	30	3	21		
(研究指導)			1-3通	名古屋大学・カセサート大学				45	74	20	45	
合計(12科目)		-			48	0	0	45	74	20	45	
卒業要件及び履修方法												
原則として3年以上在籍し、主大学開講科目から28単位、副大学開講科目から20単位、合計48単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。なお、博士論文は査読制度のある国際学術誌に投稿し、受理された後、原則として印刷公表されたものでなければならない。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	博士論文研究ⅠA		1前	名古屋大学	4			43	45	17	23		
	博士論文研究ⅡA		1後	名古屋大学	10			43	45	17	23		
	博士論文研究ⅢA		2前	名古屋大学	10			43	45	17	23		
	博士論文研究ⅣA		2後	名古屋大学	10			43	45	17	23		
	博士論文研究ⅤA		3前	名古屋大学	10			43	45	17	23		
	博士論文研究ⅥA		3後	名古屋大学	4			43	45	17	23		
	小計(6科目)		-		48	0	0	43	45	17	23		
	博士論文研究ⅠB		1前	カセサート大学	4			3	29	3	19		
	博士論文研究ⅡB		1後	カセサート大学	10			3	29	3	19		
	博士論文研究ⅢB		2前	カセサート大学	10			3	29	3	19		
	博士論文研究ⅣB		2後	カセサート大学	10			3	29	3	19		
	博士論文研究ⅤB		3前	カセサート大学	10			3	29	3	19		
博士論文研究ⅥB		3後	カセサート大学	4			3	29	3	19			
小計(6科目)		-		48	0	0	3	29	3	19			
(研究指導)		1-3選		名古屋大学・カセサート大学	—			46	74	20	42		
合計(12科目)		-			48	0	0	46	74	20	42		
卒業要件及び履修方法													
原則として3年以上在籍し、主大学開講科目から28単位、副大学開講科目から20単位、合計48単位を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを要件とする。なお、博士論文は査読制度のある国際学術誌に投稿し、受理された後、原則として印刷公表されたものでなければならない。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・准教授採用の理由により、「博士論文研究ⅠA」、「博士論文研究ⅡA」、「博士論文研究ⅢA」、「博士論文研究ⅣA」、「博士論文研究ⅤA」、「博士論文研究ⅥA」の専任教員等の配置を「准教授44」から「准教授46」に変更。  
 ・助教から講師への昇格により、「博士論文研究ⅠA」、「博士論文研究ⅡA」、「博士論文研究ⅢA」、「博士論文研究ⅣA」、「博士論文研究ⅤA」、「博士論文研究ⅥA」の専任教員等の配置を「講師14」から「講師17」、「助教26」から「助教23」に変更。  
 ・准教授採用及び助教から講師への昇格により、「研究指導」の専任教員等の配置を「教授48」から「教授49」、「准教授44」から「准教授70」、「講師14」から「講師21」、「助教26」から「助教23」に変更。

【令和元年度】

教授の異動により「博士論文研究ⅠA」、「博士論文研究ⅡA」、「博士論文研究ⅢA」、「博士論文研究ⅣA」、「博士論文研究ⅤA」、「博士論文研究ⅥA」を「教授44」に変更  
 准教授の異動により「博士論文研究ⅠA」、「博士論文研究ⅡA」、「博士論文研究ⅢA」、「博士論文研究ⅣA」、「博士論文研究ⅤA」、「博士論文研究ⅥA」を「准教授44」に変更  
 助教の異動により「博士論文研究ⅠA」、「博士論文研究ⅡA」、「博士論文研究ⅢA」、「博士論文研究ⅣA」、「博士論文研究ⅤA」、「博士論文研究ⅥA」を「助教24」に変更

【令和2年度】

・採用により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」助教3増、准教授1増  
 ・退職により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」教授3減、講師1減、助教1減  
 ・昇格により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」助教3減、准教授2減、教授2増、准教授2増、講師1増

【令和3年度】

・採用により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」教授2増、准教授1増、助教2増  
 ・退職により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」教授5減、准教授1減、講師2減  
 ・昇格により「博士論文研究ⅠA～ⅥA」教授2増、准教授2増及び2減、講師1増及び2減、助教1減

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
名古屋大学	6 科目	0 科目	0 科目	6 科目	6 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	6 科目 [ 0 ]	
カセサート大学	6 科目	0 科目	0 科目	6 科目	6 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	6 科目 [ 0 ]	
共同開設科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	名古屋大学	該当なし					
2	カセサート大学	該当なし					
3	共同開設科目	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	名古屋大学	該当なし					
2	カセサート大学	該当なし					
3	共同開設科目	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{12} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡	
	校舎敷地	663,614 <del>628,131</del> ㎡	0㎡	0㎡	663,614 <del>628,131</del> ㎡		
	運動場用地	89,165 <del>105,775</del> ㎡	0㎡	0㎡	89,165 <del>105,775</del> ㎡		
	小 計	752,779 <del>733,906</del> ㎡	0㎡	0㎡	752,779 <del>733,906</del> ㎡		
	そ の 他	2,425,466 <del>2,450,356</del> 2,507,320㎡	0㎡	0㎡	2,425,466 <del>2,450,356</del> 2,507,320㎡		
	合 計	3,178,245 <del>3,184,262</del> 3,241,226㎡	0㎡	0㎡	3,178,245 <del>3,184,262</del> 3,241,226㎡		
(2) 校 舎	専 用	463,980 590,883㎡	0㎡	0㎡	463,980 590,883㎡	大学全体	
		(463,980 590,883㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(463,980 590,883㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室	248 235 252室	89 243 232室	1,225 <del>1,687</del> 1,680室	27 25 16室 (補助職員 1人)	大学全体	
	演 習 室				10 14室 (補助職員 0人)		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡	
	校舎敷地	663,614 <del>628,131</del> ㎡	0㎡	0㎡	663,614 <del>628,131</del> ㎡		
	運動場用地	89,165 <del>105,775</del> ㎡	0㎡	0㎡	89,165 <del>105,775</del> ㎡		
	小 計	752,779 <del>733,906</del> ㎡	0㎡	0㎡	752,779 <del>733,906</del> ㎡		
	そ の 他	2,425,466 <del>2,450,356</del> 2,507,320㎡	0㎡	0㎡	2,425,466 <del>2,450,356</del> 2,507,320㎡		
	合 計	3,178,245 <del>3,184,262</del> 3,241,226㎡	0㎡	0㎡	3,178,245 <del>3,184,262</del> 3,241,226㎡		
(2) 校 舎	専 用	463,980 590,883㎡	0㎡	0㎡	463,980 590,883㎡	大学全体	
		(463,980 590,883㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(463,980 590,883㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室	248 235 252室	89 243 232室	1,225 <del>1,687</del> 1,680室	27 25 16室 (補助職員 1人)	大学全体	
	演 習 室				10 14室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	生命農学研究科名古屋大学・カセサート大学国際 連携生命農学専攻			106 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル			
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	生命農学研究科 名古屋大学・カ セサート大学国 際連携生命農学 専攻	110,852 [50,831] (113,456 [51,430]) (113,432 [51,570]) (112,417)	4,325 [1,354] (4,387 [1,358]) (4,396 [1,391]) (4,384 [1,385]) (4,378 [1,385])	21,081 [21,009] (21,486 [21,416]) (21,081 [21,009]) (20,678 [20,608]) (20,776 [21,009])	116 (119) (114) (115)	0 (0)	0 (0)
計	110,852 [50,831] (113,456 [51,430]) (113,432 [51,570]) (112,417)	4,325 [1,354] (4,387 [1,358]) (4,396 [1,391]) (4,384 [1,385]) (4,378 [1,385])	21,081 [21,009] (21,486 [21,416]) (21,081 [21,009]) (20,678 [20,608]) (20,776 [21,009])	116 (119) (114) (115)	0 (0)	0 (0)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
	24,829 m <sup>2</sup> 28,681 m <sup>2</sup>		2,031 2,195 2,175 2,173席		3,140,500 3,158,000冊			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	9,236 m <sup>2</sup> 9,229 m <sup>2</sup>		弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	岐阜大学						学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
<学部>											
教育学部	4	220	—	970	学士(教育学)	1.04	1.04	—	昭和41	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
学校教育教員養成課程	4	220	—	970	学士(教育学)	1.04	1.04	—	平成10	同上	定員変更(▲30)
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	平成19	同上	令和2年度学生募集停止
地域科学部	4	100	3年次10	420	学士(地域科学)	1.05	1.02	—	平成8	岐阜県岐阜市柳戸1番1	地域科学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
地域政策学科	4	50	3年次5	210	学士(地域科学)	—	—	—	平成18	同上	
地域文化学科	4	50	3年次5	210	学士(地域科学)	—	—	—	平成18	同上	
医学部	4・6	190	—	980	医学士(医学)	1.00	1.01	—	昭和39	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医学科	6	110	—	660	学士(医学)	0.99	1.01	令和2	昭和39	同上	定員変更(25)
看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.00	1.00	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止(3年次編入学)
工学部	4	510	3年次30	2,100	学士(工学)	1.03	1.01	—	昭和27	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
社会基盤工学科	4	60	3年次10	260	学士(工学)	1.04	1.03	—	平成14	同上	
機械工学科	4	130	3年次10	540	学士(工学)	1.05	1.01	—	平成25	同上	
化学・生命工学科	4	150	3年次2	604	学士(工学)	1.03	1.00	—	平成25	同上	
電気電子・情報工学科	4	170	3年次8	696	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成25	同上	
応用生物科学部	4・6	190	3年次10	840	生物学士(応用生物科学)	1.05	1.04	—	平成16	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
応用生命科学課程	4	80	3年次5	330	学士(応用生物科学)	1.03	1.00	—	平成23	同上	
生産環境科学課程	4	80	3年次5	330	学士(応用生物科学)	1.08	1.06	—	平成16	同上	
共同獣医学科	6	30	—	180	学士(獣医学)	1.04	1.07	—	平成25	同上	
獣医学課程	6	—	—	—	学士(獣医学)	—	—	—	平成16	同上	平成25年度学生募集停止
社会システム経営学環	4	30	—	30	学士(経営学)	1.07	1.07	—	令和3	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和3年度新設
大学合計		1,240	3年次50	5,340							
<大学院>											
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成7	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
教職実践開発専攻(専門職学位課程)	2	25	—	50	教職修士(専門職)	1.00	0.92	—	平成20	同上	
心理発達支援専攻(修士課程)	2	10	—	20	修士(教育学)	0.95	1.20	—	平成20	同上	
総合教科教育専攻(修士課程)	2	34	—	68	修士(教育学)	1.16	1.24	—	平成25	同上	
地域科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成13	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
地域政策専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(地域科学)	0.21	0.25	—	平成13	同上	
地域文化専攻(修士課程)	2	8	—	16	修士(地域科学)	1.50	1.75	—	平成13	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医学系研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成17	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医科学専攻											
(博士課程)	4	47	—	188	博士(医学)	0.69	0.62	—	平成14	同上	
再生医科学専攻											
(博士課程)	3	—	—	—	博士(再生医科学)	—	—	—	平成14	同上	平成31年度学生募集停止
看護学専攻											
(修士課程)	2	8	—	16	修士(看護学)	0.94	1.00	—	平成17	同上	
医療者教育学専攻											
(修士課程)	2	6	—	12	修士(医療者教育学)	1.00	1.00	—	令和2	同上	
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	昭和42	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
社会基盤工学専攻											
(修士課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成18	同上	平成29年度学生募集停止
生産開発システム工学専攻											
(博士課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成3	同上	平成31年度学生募集停止
物質工学専攻											
(博士課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成3	同上	平成31年度学生募集停止
電子情報システム工学専攻											
(博士課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成3	同上	平成31年度学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻											
(博士課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
工学専攻											
(博士課程)	3	23	—	69	博士(工学)	1.05	0.91	—	平成31	同上	
岐阜大学・インド工科大学グワ ハティ校国際連携統合機械工学専攻											
(博士課程)	3	2	—	6	博士(学術)	1.00	1.50	—	平成31	同上	
岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻											
(博士課程)	3	2	—	6	博士(学術)	1.00	1.00	—	平成31	同上	
自然科学技術研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成29	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
生命科学・化学専攻											
(修士課程)	2	74	—	148	修士(生命科学)	1.34	1.45	—	平成29	同上	
生物生産環境科学専攻											
(修士課程)	2	42	—	84	修士(応用生命科学)	1.06	1.10	—	平成29	同上	
環境社会基盤工学専攻											
(修士課程)	2	29	—	58	修士(工学)	1.18	1.14	—	平成29	同上	
物質・ものづくり工学専攻											
(修士課程)	2	67	—	134	修士(工学)	1.24	1.18	—	平成29	同上	
知能理工学専攻											
(修士課程)	2	81	—	162	修士(工学)	1.17	1.12	—	平成29	同上	
エネルギー工学専攻											
(修士課程)	2	72	—	144	修士(工学)	1.18	1.28	—	平成29	同上	
岐阜大学・インド工科大学グワ ハティ校国際連携食品科学技術専攻											
(修士課程)	2	10	—	20	修士(食品科学技術)	0.46	0.30	—	平成31	同上	



既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
共同獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成31	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
共同獣医学専攻 (博士課程)	4	6	—	18	博士(獣医学)	0.94	1.16	—	平成31年度	同上	
連合農学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成3	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
生物生産科学専攻 (博士課程)	3	7	—	21	博士(農学)	0.76	0.71	—	平成3	同上	
生物環境科学専攻 (博士課程)	3	5	—	15	博士(農学)	1.00	0.60	—	平成3	同上	
生物資源科学専攻 (博士課程)	3	6	—	18	博士(農学)	1.35	1.88	—	平成3	同上	
岐阜大学・インド工科大学グワ ハイ校国際連携食品科学技術専攻 (博士課程)	3	2	—	6	博士(学術)	0.75	0.50	—	平成31	同上	
連合獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成2	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
獣医学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(獣医学)	—	—	—	平成2	同上	平成31年度学生募集停止
連合創薬医療情報研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成19	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
創薬科学専攻 (博士課程)	3	3	—	9	博士(工学系創薬科学)	0.89	0.00	—	平成19	同上	
医療情報学専攻 (博士課程)	3	3	—	9	博士(工学系創薬科学)	1.00	0.67	—	平成19	同上	
研究科合計											
修士課程	—	453	—	906	—	—	—	—	—	—	
博士課程	—	106	—	365	—	—	—	—	—	—	
専門職学位課程	—	25	—	50	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	名古屋大学						学生募集停止学科数	37	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	6	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
文学部	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04	1.00		昭和24年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04	1.00		平成8年度	同上	
教育学部	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09	1.13		昭和24年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09	1.13		平成9年度	同上	
法学部	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.07	1.02		昭和24年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.07	1.02		平成9年度	同上	
経済学部	4	205	3年次10	840	学士(経済学)	1.04	1.02		昭和24年度	愛知県名古屋千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140	—	560	学士(経済学)	—	—		昭和24年度	同上	
経営学科	4	65	—	260	学士(経済学)	—	—		昭和24年度	同上	
学部共通	—	—	3年次10	20	学士(経済学)	—	—		—	同上	
情報文化学部	4	—	—	—	学士(情報文化学)	—	—		平成5年度	愛知県名古屋千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—	—	—	学士(情報文化学)	—	—		平成5年度	同上	
社会システム情報学科	4	—	—	—	学士(情報文化学)	—	—		平成5年度	同上	
学部共通	—	—	3年次—	—	学士(情報文化学)	—	—		—	同上	
情報学部	4	135	3年次10	560	学士(情報学)	1.03	1.02		平成29年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	3年次4	160	学士(情報学)	1.04	1.07		平成29年度	同上	
人間・社会情報学科	4	38	3年次4	160	学士(情報学)	0.97	0.92		平成29年度	同上	
コンピュータ科学科	4	59	3年次2	240	学士(情報学)	1.05	1.06		平成29年度	同上	
理学部	4	270	—	1,080	学士(理学)	1.07	1.03		昭和24年度	愛知県名古屋千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)	—	—		平成7年度	同上	
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)	—	—		昭和24年度	同上	
化学科	4	50	—	200	学士(理学)	—	—		昭和24年度	同上	
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)	—	—		平成8年度	同上	
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)	—	—		平成4年度	同上	
医学部	4・6	307	3年次5	1,462	学士(医学)	1.02	1.04	令和2年度	昭和24年度	—	
医学科	6	107	3年次5	662	学士(医学)	1.01	1.03	令和2年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	—	800	学士(看護学)	1.03	1.04		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部	4	680	—	2,720	学士(工学)	1.02	1.02		昭和24年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成8年度	同上	平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成9年度	同上	平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成7年度	同上	平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成6年度	同上	平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成8年度	同上	平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	396	学士(工学)	1.03	1.03		平成29年度	同上	
物理工学科	4	83	—	332	学士(工学)	1.02	1.01		平成29年度	同上	
マテリアル工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.01	1.02		平成29年度	同上	
電気電子情報工学科	4	118	—	472	学士(工学)	1.01	1.00		平成29年度	同上	
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	600	学士(工学)	1.01	1.02		平成29年度	同上	
エネルギー理工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.06	1.00		平成29年度	同上	
環境土木・建築学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.02	1.05		平成29年度	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地
農学部	4	170	—	680	学士(農学)	1.07	1.04		昭和26年度	愛知県名古屋千種区不老町1
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05	1.05		平成18年度	同上
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06	1.03		平成18年度	同上
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.08	1.05		平成18年度	同上
合 計		2,107	3年次 55 2年次 —	8,762						

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍				
文学研究科									昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学) 博士(歴史学)	—	—				
人文学研究科									平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学) 修士(学術)	1.03	0.98				
(博士後期課程)	3	61	—	183	博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.62	0.60				
教育発達科学研究科									昭和28年度 (平成12年 度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.79	0.93				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.82	0.68				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 博士(臨床心理学)	0.95	0.95		平成12年度	同上	
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.93	0.73				
法学研究科									昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学)	0.85	0.77				
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.50	0.11				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.73	0.72		平成16年度	同上	
経済学研究科									昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理学)	0.93	0.76				
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.41	0.26				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	0.63	0.85		平成12年度	同上	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.42	0.14				
情報学研究科									平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.17	1.14				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.50	0.50				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.23	1.16		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学) 博士(学術)	0.70	0.37				
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学) 修士(学術)	0.97	0.94		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(情報学) 博士(学術)	0.40	0.20				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.83	0.86		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.90	0.71				

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.06	1.06		平成29年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学)	0.29	0.22				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.47	1.75		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学)	1.50	2.00				
理学研究科									昭和28年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05	1.10		平成7年度	同上	
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.66	0.40				
物質物理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.23	1.15		平成7年度	同上	
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.79	0.81				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05	0.97		平成8年度	同上	
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.40	0.11				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	0.00		平成28年度	同上	
医学系研究科									昭和30年度 (平成14年度名称変更)	—	
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	604	博士(医学)	1.09	1.09		平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.18	0.00		平成27年度	同上	
名古屋大学・メルボルン大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.12	0.00		平成29年度	同上	
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	8	博士(医学)	0.00	0.00		平成30年度	同上	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.77	0.75		平成13年度	同上	
医療行政コース 総合保健学専攻 (博士前期課程)	1	10	—	10	修士(医療行政学)	0.90	0.00		令和2年度	愛知県名古屋東区大幸南1-1-20	
(博士後期課程)	3	20	—	40	修士(看護学)	0.87	0.82				
					修士(医療技術学)						
					修士(リハビリテーション療法学)						
(博士後期課程)	3	20	—	40	博士(看護学)	0.87	0.80				
					博士(医療技術学)						
					博士(リハビリテーション療法学)						
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—	—		平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—	—				
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—	—		平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—	—				
リハビリテーション療法学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—	—		平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—	—				
工学研究科									昭和28年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
化学・生物学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
マテリアル理工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
機械理工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	倍					
社会基盤工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生 募集停止	
結晶材料工学専攻  (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		昭和52年度 (平成16年 度再編)	愛知県名古屋千 種区不老町1	平成29年度より学生 募集停止	
マイクロ・ナノシステム工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生 募集停止	
計算理工学専攻  (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成9年度 (平成16年 度再編)	同上	平成29年度より学生 募集停止	
有機・高分子化学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成29年度	同上		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.02	0.97					
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.95	0.62					
応用物質化学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	0.98	1.05		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58	0.50					
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	0.99	1.03		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.71	0.66					
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	1.11	1.12		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.47	0.44					
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.92	0.97		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33	0.44					
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	0.99	0.91		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16	0.37					
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.15	1.08		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	1.14	1.33					
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.23	1.14		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.24	1.37					
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.36	1.35		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.80	0.66					
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.25	1.23		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.96	0.76					
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.21	1.33		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.70	0.75					
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.34	1.31		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.52	0.57					
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.33	1.36		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.74	0.25					
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.43	1.36		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.87	0.87					
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	1.11	1.22		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.60	1.00					
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	1.10	0.94		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58	0.25					
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.98	0.91		平成29年度	同上		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81	0.33					
生命農学研究科										昭和30年度 (平成9年 度名称変 更)	愛知県名古屋千 種区不老町1	
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	—		平成11年度	同上	平成30年度より学生 募集停止	
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—	—					
生物機構・機能科学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—	—		平成9年度	同上	平成30年度より学生 募集停止	
生命技術科学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—	—		平成16年度	同上	平成30年度より学生 募集停止	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍				
森林・環境資源科学専攻									平成30年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
(博士前期課程)	2	27	—	54	修士(農学)	1.16	1.11				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(農学)	0.99	1.00				
植物生産科学専攻									平成30年度	同上	
(博士前期課程)	2	30	—	60	修士(農学)	1.23	1.26				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(農学)	1.14	0.77				
動物科学専攻									平成30年度	同上	
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(農学)	1.03	1.07				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(農学)	0.75	0.42				
応用生命科学専攻									平成30年度	同上	
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(農学)	1.08	1.09				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(農学)	0.47	0.43				
名古屋大学・カセサート大学 国際連携生命農学専攻									平成30年度	同上	
(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(農学)	0.66	0.00				
名古屋大学・西オーストラリ ア大学国際連携生命農学専攻									平成31年度	同上	
(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(農学)	0.50	0.00				
国際開発研究科									平成3年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—	—		平成3年度	同上	平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—	—				
国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—	—		平成4年度	同上	平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—	—				
国際コミュニケーション専攻									平成5年度	同上	平成29年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—	—				
国際開発協力専攻 (博士前期課程)	2	44	—	88	修士(国際開発学)	0.93	0.90		平成30年度	同上	
(博士後期課程)	3	22	—	66	修士(学術)	0.71	0.50				
多元数理科学研究科									平成7年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.07	1.10		平成7年度	同上	
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.55	0.50				
国際言語文化研究科									平成10年度	愛知県名古屋千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学)	—	—		平成10年度	同上	
国際多元文化専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—	—				
環境学研究科									平成13年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.84	0.77		平成13年度	同上	
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.39	0.41				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.25	1.19		平成13年度	同上	
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37	0.23				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.81	0.66		平成13年度	同上	
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学)	0.50	0.30				
					修士(地理学)						
					修士(法学)						
					修士(経済学)						
					博士(環境学)						
					博士(社会学)						
					博士(地理学)						
					博士(法学)						
					博士(経済学)						

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
情報科学研究科	年	人	年次	人		倍	倍		平成15年度 平成15年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	平成29年度より学生募集停止
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術)	—	—				
メディア科学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—		平成15年度	同上	
複雑系科学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—		平成15年度	同上	
社会システム情報学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—		平成15年度	同上	
創薬科学研究科									平成24年度 平成24年度 平成26年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.10	1.09				
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	1.00	1.10				
合計											
博士前期課程		1,626	—	3,252							
博士後期課程		571	—	1,710							
博士課程		161	—	644							
修士課程		30	—	50							
専門職学位課程		50	—	150							

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。











































5 教員組織の状況

(1) 一① 担当教員表  
 <名古屋大学>  
 【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等 担当授業科目名
									専	助教	吳 迪  <令和2年4月> 博士(農学) 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)	専	助教	吳 迪  <令和2年4月> 博士(農学) 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
												専	教授	西島 謙一  <令和3年4月> 博士(農学) 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
												専	教授	中道 範人  <令和3年4月> 博士(農学) 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
												専	准教授	山内 卓樹  <令和3年4月> 博士(農学) 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
												専	助教	浜島 りな  <令和3年4月> 博士(農学) 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)
												専	助教	大谷 仁志  <令和3年4月> 博士(理学) 博士論文研究 I A 博士論文研究 II A 博士論文研究 III A 博士論文研究 IV A 博士論文研究 V A 博士論文研究 VI A (研究指導)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。









5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表  
 <カセサート大学>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
					Chusak CHOMPUK			Chusak CHOMPUK			Chusak CHOMPUK
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Julapark CHUNWONGSE			Julapark CHUNWONGSE			Julapark CHUNWONGSE
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Kanungnit REANWARAKORN			Kanungnit REANWARAKORN			Kanungnit REANWARAKORN
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Nantasak PINKAEW			Nantasak PINKAEW			Nantasak PINKAEW
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Orarat MONGKOLPORN			Orarat MONGKOLPORN			Orarat MONGKOLPORN
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Pabhop SINGHAYAKUL			Pabhop SINGHAYAKUL			Pabhop SINGHAYAKUL
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Sontichai CHANPRAME			Sontichai CHANPRAME			Sontichai CHANPRAME
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)



5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表  
 <カセサート大学>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
					Suriya SAWANON			Suriya SAWANON			Suriya SAWANON
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Unaroj BOONPRAKOB			Unaroj BOONPRAKOB			Unaroj BOONPRAKOB
			外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Anyamane AUVUCHANON			Anyamane AUVUCHANON			Anyamane AUVUCHANON
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Jamnian CHOMPOO			Jamnian CHOMPOO			Jamnian CHOMPOO
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Jintana UNARTNGAM			Jintana UNARTNGAM			Jintana UNARTNGAM
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Juamas ROMKAEW			Juamas ROMKAEW			Juamas ROMKAEW
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Napaporn PHANKAMOLSIL			Napaporn PHANKAMOLSIL			Napaporn PHANKAMOLSIL
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表  
 <カセサート大学>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
					Onuma TANADUN			Onuma TANADUN			Onuma TANADUN
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Ornprapan SONGSERM			Ornprapan SONGSERM			Ornprapan SONGSERM
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Parson SARADHULDHAT			Parson SARADHULDHAT			Parson SARADHULDHAT
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Patcharin TANYA			Patcharin TANYA			Patcharin TANYA
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	准教授相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Piyanath PAKAMAS			Piyanath PAKAMAS			Piyanath PAKAMAS
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Pornsiri LIENGSAKUL			Pornsiri LIENGSAKUL			Pornsiri LIENGSAKUL
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
					Pornthip RUANPANUN			Pornthip RUANPANUN			Pornthip RUANPANUN
			外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表  
 <カセサート大学>

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
						外国	助教相当	Punyisa TRAKOONYINGCHARO EN 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Punyisa TRAKOONYINGCHARO EN 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Punyisa TRAKOONYINGCHARO EN 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
						外国	助教相当	Ratri BOONRUANGROD 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Ratri BOONRUANGROD 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Ratri BOONRUANGROD 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
						外国	助教相当	Roungthip MASMEATATHIP 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Roungthip MASMEATATHIP 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Roungthip MASMEATATHIP 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
						外国	助教相当	Sermsiri CHANPRAME 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Sermsiri CHANPRAME 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Sermsiri CHANPRAME 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
						外国	助教相当	Sujin PATARAPUWADOL 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Sujin PATARAPUWADOL 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Sujin PATARAPUWADOL 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
						外国	助教相当	Sukanya RATTANATABTIMTONG 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Sukanya RATTANATABTIMTONG 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Sukanya RATTANATABTIMTONG 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
						外国	助教相当	Tiwa PAKOKTOM 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Tiwa PAKOKTOM 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)	外国	助教相当	Tiwa PAKOKTOM 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表  
 <カセサート大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>
		保有学位等 担当授業科目名

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>
		保有学位等 担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>
		保有学位等 担当授業科目名
外国	助教相当	Wachiraya IMSABAI 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
外国	助教相当	Yuwares RUANGPANIT 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
外国	講師相当	Nitipong HOMWONG 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>
		保有学位等 担当授業科目名
外国	助教相当	Wachiraya IMSABAI 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
外国	准教授相当	Yuwares RUANGPANIT 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
外国	講師相当	Nitipong HOMWONG 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>
		保有学位等 担当授業科目名
外国	助教相当	Wachiraya IMSABAI 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
外国	准教授相当	Yuwares RUANGPANIT 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)
外国	講師相当	Nitipong HOMWONG 博士論文研究 I B 博士論文研究 II B 博士論文研究 III B 博士論文研究 IV B 博士論文研究 V B 博士論文研究 VIB (研究指導)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の太字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

<名古屋大学>

【平成30年度】

- 平成29年7月1日 青木弾助教が講師に昇格
- 平成29年9月1日 松尾美幸助教が講師に昇格。
- 平成30年1月1日 太田垣駿吾助教が講師に昇格。
- 平成30年3月31日 柘植尚志教授辞任。後任未定であるが、平成30年10月から専任教員採用予定で公募中。
- 平成30年4月1日 鈴木孝幸准教授、木羽隆敏准教授、松山秀一准教授就任。
- 平成30年5月1日 大飼義明准教授が教授に昇格。

【令和元年度】

- 平成30年9月1日 高原照直助教が講師に昇格。
- 平成30年9月30日 森田(寺尾)美代教授辞任。
- 平成31年1月1日 村瀬潤准教授が教授に昇格。
- 平成31年3月31日 北野 英己教授定年退職。下村 吉治教授定年退職。牧 正敏教授定年退職。前島 正義教授定年退職。大森 保成教授定年退職。
- 平成31年3月31日 川北一人教授辞任。太田岳史教授辞任。伊藤正樹准教授辞任。金丸京子講師辞任。富岡利恵助教辞任。
- 平成31年4月1日 佐塚隆志准教授が教授に昇格。
- 平成31年4月1日 千葉壮太郎准教授就任。谷川東子准教授就任。山本治樹助教就任。仲田麻奈助教就任。永井啓祐助教就任。徳田博美教授就任。

【令和2年度】

- 令和2年4月1日 飯田教夫助教。森田真布助教。岩永青史准教授。吳迪助教。就任。
- 令和2年3月31日 小俣達男教授。松田洋一教授。定年退職。
- 令和元年8月31日 安立昌篤講師辞任。
- 令和2年3月31日 松田幹教授。山田早人助教。辞任。
- 令和元年6月1日 山本一清准教授が教授に昇格。野田口理孝助教が准教授に昇格。
- 令和元年10月1日 佐藤ちひろ准教授が教授に昇格。
- 令和2年1月1日 高橋宏和助教が准教授に昇格。
- 令和2年3月16日 橋本(杉本)美海助教が講師に昇格。

【令和3年度】

- 令和3年3月31日 竹中 千里教授、松岡 信教授、堀尾 文彦教授、服部 東穂教授、小林 哲夫教授定年退職
- 令和3年3月31日 中崎 教夫准教授、松尾 美幸講師、小林 美里講師辞任
- 令和3年4月1日 西島 謙一教授、中道 範人教授、山内 卓樹准教授、大谷 仁志助教、浜島 りな助教就任
- 令和3年4月1日 上口 美弥子准教授が教授に昇格、柴田 貴広准教授が教授に昇格、稲垣 哲也講師が准教授に昇格、三屋 史朗講師が准教授に昇格、DAMNJANOVIC Jasmina助教が講師に昇格

<カセサート大学>

【平成30年度】

特になし

【令和元年度】

退職者 5名  
採用・補充者 31名  
役職変更者 1名  
調整等を行う専任教員退職に伴う変更

【令和2年度】

准教授相当から教授相当に2名昇格  
助教相当から准教授相当に2名昇格  
准教授相当1名辞任

【令和3年度】

講師相当から准教授相当に2名昇格  
助教相当から准教授相当に1名昇格

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
48	44	14	26	132	0	42	45	14	24	125	0
(47)	(47)	(17)	(23)	(134)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
132	0	0				125	0	0			
(134)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
42	45	14	24	125	0	48	44	14	26	132	0
[Δ6]	[Δ1]	[ - ]	[ Δ2 ]	[ Δ7 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
125	0	0				132	0	0			
[ Δ7 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{125}{132} = \boxed{94.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{125} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注)・本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員(同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等)が兼って担当する場合も含める)について記入してください。

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
1	教授	柘植 尚志	H30.3	必修	博士論文研究ⅠA	①	他機関へ就職のため、H30.3.31付けて退職(30)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	

合計(D)			後任補充状況の集計(E)							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)					
1	人	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
1	教授	川北 一人	H31.3	必修	博士論文研究ⅠA	①	H31.4.1名古屋大学理事就任のため辞任(元)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	
2	教授	森田(寺尾) 美代	H31.3	必修	博士論文研究ⅠA	①	H30.9.30他機関就職のため辞任(元)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	
3	教授	太田 岳史	H31.3	必修	博士論文研究ⅠA	①	H31.3.31本学退職のため辞任(元)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	
4	教授	伊藤 正樹	H31.3	必修	博士論文研究ⅠA	①	H31.4.1他機関就職のため辞任(元)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	
5	講師	金丸 京子	H31.3	必修	博士論文研究ⅠA	①	H31.4.1他機関就職のため辞任(元)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	
6	助教	富岡 利恵	H31.3	必修	博士論文研究ⅠA	①	H31.3.31本学退職のため辞任(元)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	
7	講師	安立 昌篤	R1.8	必修	博士論文研究ⅠA	①	R1.9.1他機関就職のため辞任(2)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	
8	助教	山田 早人	R2.3	必修	博士論文研究ⅠA	①	R2.4.1他機関就職のため辞任(2)
				必修	博士論文研究ⅡA	①	
				必修	博士論文研究ⅢA	①	
				必修	博士論文研究ⅣA	①	
				必修	博士論文研究ⅤA	①	
				必修	博士論文研究ⅥA	①	

9	教授	松田 幹	R2.3	必修	博士論文研究 I A	①	R2.4.1他機関就職のため辞任(2)
				必修	博士論文研究 II A	①	
				必修	博士論文研究 III A	①	
				必修	博士論文研究 IV A	①	
				必修	博士論文研究 V A	①	
				必修	博士論文研究 VI A	①	
10	准教授	中崎 敦夫	R3.3	必修	博士論文研究 I A	①	R3.4.1他機関就職のため辞任(3)
				必修	博士論文研究 II A	①	
				必修	博士論文研究 III A	①	
				必修	博士論文研究 IV A	①	
				必修	博士論文研究 V A	①	
				必修	博士論文研究 VI A	①	
11	講師	小林 美里	R3.3	必修	博士論文研究 I A	①	R3.4.1他機関就職のため辞任(3)
				必修	博士論文研究 II A	①	
				必修	博士論文研究 III A	①	
				必修	博士論文研究 IV A	①	
				必修	博士論文研究 V A	①	
				必修	博士論文研究 VI A	①	
12	講師	松尾 美幸	R3.3	必修	博士論文研究 I A	①	R3.4.1他機関就職のため辞任(3)
				必修	博士論文研究 II A	①	
				必修	博士論文研究 III A	①	
				必修	博士論文研究 IV A	①	
				必修	博士論文研究 V A	①	
				必修	博士論文研究 VI A	①	

合計(F)			後任補充状況の集計(G)										
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
12	人	必修	72	科目	必修	72	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	72	科目	計	72	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」         |
| ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」       |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)										
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
13	人	必修	78	科目	必修	78	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	78	科目	計	78	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{13}{132} = \boxed{9.84} \%$$

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## (3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	北野 英己	必修	博士論文研究 I A	①	H31. 3. 31付け65歳で定年退職 (元)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
2	教授	下村 吉治	必修	博士論文研究 I A	①	H31. 3. 31付け65歳で定年退職 (元)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
3	教授	牧 正敏	必修	博士論文研究 I A	①	H31. 3. 31付け65歳で定年退職 (元)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
4	教授	前島 正義	必修	博士論文研究 I A	①	H31. 3. 31付け65歳で定年退職 (元)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
5	教授	大森 保成	必修	博士論文研究 I A	①	H31. 3. 31付け65歳で定年退職 (元)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
6	教授	小俣 達男	必修	博士論文研究 I A	①	R2. 3. 31付け65歳で定年退職 (2)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
7	教授	松田 洋一	必修	博士論文研究 I A	①	R2. 3. 31付け65歳で定年退職 (2)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
8	教授	松岡 信	必修	博士論文研究 I A	①	R3. 3. 31付け65歳で定年退職 (3)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
9	教授	服部 東穂	必修	博士論文研究 I A	①	R3. 3. 31付け65歳で定年退職 (3)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
10	教授	堀尾 文彦	必修	博士論文研究 I A	①	R3. 3. 31付け65歳で定年退職 (3)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
11	教授	小林 哲夫	必修	博士論文研究 I A	①	R3. 3. 31付け65歳で定年退職 (3)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	
12	教授	竹中 千里	必修	博士論文研究 I A	①	R3. 3. 31付け65歳で定年退職 (3)
			必修	博士論文研究 II A	①	
			必修	博士論文研究 III A	①	
			必修	博士論文研究 IV A	①	
			必修	博士論文研究 V A	①	
			必修	博士論文研究 VI A	①	

合計		後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
12 人	必修	72	科目	必修	72	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	72	科目	計	72	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>教育に支障がないように、それぞれ専任教員を配置しているため、学生への影響はない。また、ガイダンス及び個別指導により学生へ周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年)	研究倫理に関する教育 内容を充実すること。	留意事項	名古屋大学大学院生命農学 研究科博士前期課程で開講 している科目「研究リテラ シー」を本国際連携専攻学 生に受講させることとし た。(30)	履行済
設 置 時 (平成30年)	博士論文について、査 読制度のある国際学術 誌への投稿・受理は博 士論文全体であるの か、一部であるのか、 併せて本専攻における 修了要件であるのか、 博士論文提出要件であ るのかを含め明確にす ること。	留意事項	査読制度のある国際学術誌 への投稿・受理は、博士論 文の一部であり、これは、 博士論文提出要件である。 この条件についてはカセ サート大学とも認識を共有 しており、「博士論文審査 に先立ち、博士論文を構成 する研究成果の全体又はそ の一部が学術誌に掲載され るか、少なくとも「掲載受 理」されていること」とし た。(30)	履行済
設 置 時 (平成30年)	本専攻の設置の趣旨や 教育・研究内容等に鑑 み、名古屋議定書の効 力の発生を踏まえた研 究倫理審査体制を明確 にすること。	留意事項	名古屋議定書に基づき、資 源利用に関して公正な研 究の実施を図るため、学術研 究・産学官連携推進本部に 遺伝資源（名古屋議定書） に関する相談窓口を設けて いる。本相談窓口の活用等 を通じ、海外からの生物由 来研究試料など遺伝資源を 取得する際には、提供国の 法令等を遵守し、生物の多 様性に関する条約と名古屋 議定書に基づく手続きを遵 守して厳正に行うものとし る。(30)	履行済
設 置 時 (平成30年)	協定書の締結にあたっ ては、申請書に示され ている内容を確実に反 映させること。	留意事項	申請書に記載された内容を 反映した協定書について、 平成30年3月19日に調印式を 行い締結した。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<生命農学研究科 名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 大学設置基準第51条2項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 合同委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>・カセサート大学側からSutkhet農学部長、Donludee国際担当副学部長、Sirinporn准教授（コーディネータ、定年退職のため本年度と途中よりSupatida准教授に交代）、Somwang大学院長、Srijidtra副院長（現在大学院長）が、村瀬潤国際連携生命農学専攻長、馬特特任助教（コーディネータ）が参加して、オンライン形式の委員会を複数回開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>2020年度入学者について            学生募集の拡充について            教務手続きの確認            学位審査手続きの確認            学位記発行手続きの確認            その他</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>共同ウェビナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両大学の教員による研究紹介</li> <li>専攻在籍学生による研究紹介・相手校での研究生生活の紹介</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>・Zoomを使ったウェビナーを実施し、両大学の教員による研究紹介を行った。また、当該専攻に在籍する両国の学生も研究成果の発表を行った。ウェビナーは当該研究科が実施するもう一つのジョイントディグリープログラムのパートナーである西オーストラリア大学とも連携して実施し、3大学以外からの参加も受付けた。ウェビナー後には進学を検討中の学生に対する情報提供を行なった。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>・合計で6回のウェビナーを開催し、毎回約10名の教員を含む40名程度の参加者があった。また、毎回数名の外部参加者を得た。また、課程3年目の学生の学位予備審査、本審査についても発表部分は公開とし、40名以上の教員の参加を得た。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>・コロナ禍において、ウェビナー形式の研究交流、学生の相互遠隔指導に新たな可能性を見出すことができた。今後もオンライン形式の研究交流、学生指導を有効に活用することとなった。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>無</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>学内教員向けにプログラム報告会を実施するとともに、学位審査の一部を公開した。また、学生へのプログラム説明会を計6回開催した。加えて本プログラム在籍学生によるプログラム紹介をホームページに掲載した。</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・設定したアドミッションポリシーに沿って両大学共同で入学者を選考し、令和3年5月現在、名古屋大学側を主大学とする学生2名、カセサート大学側を主大学とする学生3名が在籍している。また、名古屋大学を主大学とする学生1名が令和3年3月に本プログラムの第1期生として予定通り3年間で博士学位を取得するに至った。当該学生は優れたカセサート大学にて実施した研究成果を著名な学術誌にて発表し、プレスリリースを行うとともに本学HPでも紹介された。以上のことから、概ね当初の予定に沿って順当に運営されており、設置の趣旨・目的を十分に達成していると判断する。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・令和3年秋頃 公表予定

##### b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、6月末までに文部科学省あて提出。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に受審

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

- c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

名古屋大学  
カセサート大学  
国際連携生命農学専攻  
協定書

(本書は英文書類が正式版である。)

本協定書は、2017年 月 日から、日本国愛知県名古屋市千種区不老町(〒464-8601)にその主たるキャンパスを有する名古屋大学大学院生命農学研究科と、50 Ngam Wong Wan Rd, Ladyaow Chatuchak Bangkok 10900, Thailand にその主たるキャンパスを有するカセサート大学農学部及びカンペンセンキャンパス農学部（以下「当事者」若しくは「両当事者」という）間で発効する。

## 1. 目的

本協定書は、1981年6月に交わされた2大学間の教育交流協定に始まり、直近では2008年11月に締結された「カセサート大学・名古屋大学の学術交流及び協力に関する協定書」をもととし実施する共同学位プログラムでの、学術及び事務における詳細を説明している。本協定書で実施するプログラムは、参加する学生の能力を豊かな人間性、高い倫理性を備え、専門的な知識・技術とともに倫理的思考力と広い視野、また農学のフロントランナーとしての社会的使命感をもち、その結果として両当事者による共同博士学位の取得を目指す人材の育成を目指す。これにより実施されるプログラムは「名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻」（以下「本プログラム」）と称する。

## 2. 定義

本協定書内では以下を定義する。

「運営委員」後述。

「参加学生/対象学生」本プログラムに入学する学生。

「アドバイザー」いずれかの大学で対象学生に研究及び論文の指導を行う教員。

「アカデミックコーディネーター」各大学で1名ずつ任命。プログラム全体管理を行う。

「アドミニコーディネーター」本プログラムの実施のために各大学にてサポートを行う人員。

「主大学」学生が最初にプログラム願書を提出した大学を指し、最終的にその学生の研究実行に関する主たる責任を負う。

「副大学」主大学に対する、もう一方の大学をさす。

## 3. 期間

本協定書は、本協定書内の諸条件に従って解除されない限り、上記締結日から5年間効力を持つ。



#### 4. プログラム

本協定書によるプログラムに入学する学生は、ここに附属書として付されるプログラムディスクリプション及び参考としてその附属書に含まれるラーニングアグリーメントに規定されるカリキュラムに従い、両大学にて修学し、両大学の適任教員が共同で行う指導を受けることとする。一般的に英語で運営される本プログラムを成功裏に修了し、英語により作成された論文に対し、審査委員メンバーが本プログラムの目的を準拠し好評価を下した場合、対象となる学生は、両当事者により事前に決められた方針に従い、単一学位を授与される。本プログラムでの研究及び修学期間は、フルタイム換算で標準3年とする。本標準期間からの逸脱は、ラーニングアグリーメントに明記するようにする。副大学での滞在期間は基本1年とする。ただし、両当事者の所在国の教育関連法令を満足する限りにおいて、副大学に滞在する期間及び時期を、参加学生の学修計画により変更できるものとする。

#### 5. 運営委員

両当事者は、本協定書による本プログラムの実施に向けて運営委員会を設置するものとする。その運営委員の一部として、各当事者が在籍教員の中からアカデミックコーディネーターを、そして事務職員の中からアドミニコーディネーターを任命する。上記の運営委員は以下の機能を持つものとする。

- a) プログラムの監督（本プログラムの品質保証及びコンプライアンス管理を含む。）
- b) 学生の成果および進捗（学生からのフィードバックを含む。）
- c) 記録管理

この運営委員は、少なくとも1年に2回、本プログラムの品質に関し対面もしくはネットワーク上でミーティングを行うことで、本プログラムの学術的内容の品質保証と水準維持を共同で努めるものとする。

#### 6. 管理責任

両当事者は、大学規則に関する全公式書類を互いに提供するものとする。本プログラムまた/もしくは参加学生に影響する規則に変更がある場合は、他方当事者にできうる限り早い段階で書面にて通知し、本協定書への修正を行わなければならない。上記変更により問題が発生した場合、両当事者は納得のいく解決策を検討していくこととする。各大学での管理を機能させるために、本プ

プログラムへの志願者および/もしくは入学する学生の個人情報、当該学生の合意を得て、他方の大学に提供するものとする。

## 7. 入学審査

両大学は、本プログラムのために選考した学生が相応しい能力をもち、学術的にも語学能力からも適格であることを保証するものとする。両大学における博士課程の入学基準を満たした者のみが、本プログラムに入学する資格を得る。応募書類はまず主大学側で評価され、その後、副大学へ審査対象として提供される。本プログラムへの入学許可を得るために、学生は両大学の入学関連方針全てを満たし、附属書に示される本プログラムの審査過程を経るものとする。

## 8. 定員

本プログラムへの入学を許可される学生の定員は、毎年各大学 1 名。両当事者は各学修計画の交流期間が双方向間で均衡が取れるよう、一般的に努めるものとする。3 年間の交流累計で均衡が取れていない場合、両当事者は解決に向けた努力をし、また友好的な合意ができるようにする。

## 9. 参加学生のステータス

本プログラムに入学した学生は、参加期間を通して両大学に学籍が発生し、両大学から提供される施設およびサービスを受ける資格を獲る。各対象学生は参加している大学の全ての関連規則、行動規範や手続き、居住している国の法律に従うものとする。そのような条件への遵守に関し、本プログラムへの入学時に同意を得る。通常の学生サービスに加え、各当事者は本参加学生に対し、海外に滞在中の宿舎を探すサポートのようなサービスを追加で行う。しかしながら、このようなサービスは参加学生に限定され、配偶者や扶養家族は対象とならない。

## 10. 参加学生の法律上の義務

参加学生は状況に応じ自身の学生ビザ要件を満たし、タイ国・日本国それぞれで適切な健康保険およびその他必要な保険を入手する責任がある。学生が到着するに先立ち、それぞれの大学では相手大学に、その段階で最新の、ビザ要件および国民健康保険もしくは現地で必要となる可能性のあるその他保険の情報を提供するものとする。

## **11. 授業料およびその他費用**

各対象学生は本プログラムを通し、自身の主大学にだけ授業料およびその他費用を納めるものとする。副大学での授業料、入学金、審査料および登録料は、前述の基本協定に則し免除となる。

## **12. 研究指導**

両大学は各参加学生に対し適切なアドバイザーを任命する。アドバイザーの任命については両当事者で協議をし、両者で合意するものとする。両大学からのアドバイザーは協働して当該学生への研究指導を行い、助言を与える。アドバイザーは定期的に、学生の学術・研究の進捗について、対面もしくはネットワーク上のミーティングを行い、運営委員に対し年次報告書を提出するものとする。

## **13. カリキュラムおよび単位**

両当事者は本プログラムに入学する参加学生に適切な教育カリキュラムを提供するものとする。そのカリキュラムでは、学生に研究・学修の相応しい機会を与え、本プログラムの完了要件である履修単位取得の構成をもっていなければならない。両当事者は、元々1単位あたりの授業量換算が同じ基準であり、参加学生がそれぞれの大学で行った取組を同等に評価するものとして認識している。本プログラムのカリキュラムおよび必要単位は附属書に記載されている。

## **14. 論文および口頭試問**

本プログラムの対象学生は、プログラムディスクリプションに規定される他の要件を満たした後、1本の論文を各所定の様式で両大学に提出し、主大学で行う口頭試験/試問を行わなければならない。その論文提出および口頭試験の資格および手順は両当事者の合意により定められる。ここでの評価を行う試験委員は、本共同プログラムの性質を鑑み任命するものとする。

## **15. 学位の授与**

本プログラムおよび論文審査を無事満たしたとき、要件を満足した参加学生は、プログラムディスクリプションの規定に従った学位記により、カセサート大学および名古屋大学の名の下に共同学位を授与されるものとし、主大学で執り行われる修了式への参加が可能となる。必要に応じ、費用を負担するこ

とで、本協定書による上記学位を授与された学生は両大学の卒業生として記録されるものとする。

本項は、かつて論文審査および/もしくは口頭試験を満たさなかった参加学生が、本プログラムでの学籍を終了した後に、上記博士学位の審査対象となる場合を含むことができる。

## **16. 知的財産権**

両当事者は、本プログラムから派生し、特許権、著作権、もしくは他の知的財産権につながる共同研究を行う場合、知的財産に関する両大学の方針に従い、個々のケースごとに書面による合意協定をもつものとする。

## **17. 広報宣伝**

各当事者は本協定での調整内容を自費かつ自身のネットワークを用い、宣伝、マーケティングおよび公表する責任を負うものとする。各当事者の名称および/またはロゴを使用する場合は、いかなるときも相手大学から事前の承認を得なければならない。

## **18. プログラムの評価**

当事者は、本プログラムの品質に関し、3年毎に、第三者による公平な評価を受けることで合意している。

## **19. リスクマネジメント**

両当事者は本プログラムに関係する参加学生およびスタッフへの効果的な危機管理を行うために協力をし、前述の運営委員がこれを促すものとする。

## **20. 学生からの苦情対応**

参加学生から受けた全ての苦情はアカデミックコーディネーターもしくは各大学のカウンセリング担当により、誠意を持って対応されるものとする。

## **21. 転専攻**

参加学生が本プログラムから離れる希望をもつ場合、当事者の承認を得た後に、当該学生は自身の主大学で通常学位プログラムへの参加を認められる可能性がある。通常プログラムから転専攻する、反対のケースは、そのような

リクエストが挙がる度に運営委員が適宜協議をし、尚且それぞれの大学の承認プロセスに従い判断するものとする。

## **22. 休学および退学**

参加学生に休学もしくは退学の意思がある場合、運営委員は少なくとも両大学院の研究科長およびその学生のアドバイザー達を含めミーティングを持ち、それぞれの大学の承認プロセスを経つつ、その決着を行う。

## **23. 論争の解決**

本協定書の解釈もしくは実行に関し論争がある場合は、両当事者が話し合いで解決することで合意している。

## **24. 不可抗力**

天災、その他同様の原因など、その当事者の合理的な支配を超える事由の発生により、本プログラムの運営が一方もしくは両当事者とも不可能とみなされる状態にある場合、主大学側の当事者が参加学生の研究の機会を確保する責任を負うべきものである。

## **25. 協定書の修正、更新、終了**

本協定書内のいかなる項に関連する修正も相互協議かつ両当事者の合意の上でなされるものとする。本協定書を更新もしくは終了する意思がある場合、少なくとも1年前に相手大学に通知しなければならない。いかなる修正、更新、終了に関しても、合意が書面でなされない場合は、いずれかの当事者が合理的な妥協点を見つける話し合いを要請することが可能である。

## **26. 追加資料**

ここで規定されていない、本協定書の項に関する事象は、両当事者間の合意が求められるものであり、プログラムディスクリプションにて文書化されるものとする。本プログラムに関係するその他資料は、両当事者により共有、認識、保管されるものとする。

## **27. 真正性**

本協定書は、名古屋大学総長、カセサート大学学長およびその他両当事者の代表署名者によるサインを伴った英語書類が正式版である。先述の正式

版は大学ごとに保管するものとする。

上記の証として、ここでの両大学が、正当な権限を有する代表者をして本協定書 2 部に署名せしめ、各自 1 通保有する。

名古屋大学

カセサート大学

.....  
名前 松尾 清一  
総長

.....  
名前 Chograk Wachrinrat  
Acting President

日付: .....

日付: .....

.....  
名前 川北 一人  
生命農学研究科長

.....  
名前 Somwang Khantayanuwong  
Dean, Graduate School

日付: .....

日付: .....

.....  
名前 Pabhop Sinchayakul  
Dean, Faculty of Agriculture at  
Kamphaeng Saen

日付: .....

.....  
名前 Sutkhet Nakasathien  
Dean, Faculty of Agriculture

日付: .....